

現地ニーズを踏まえた海外向け医療機器開発支援

Supporting business plan of Medical Equipment Development
for Overseas based on local needs (SMEDO)

令和7年度公募



東京都



国立健康危機管理研究機構

JIHS Japan Institute for Health Security

ASEAN等新興国は、経済発展と人口増加に伴い国内や欧米諸国を上回る市場の拡大が予測されています。都内の中小企業（医療機器製造販売企業、ものづくり企業等。以下「ものづくり中小企業等」といいます。）のこれらの地域における医療機器産業への参入を促進するためには、現地のニーズを把握することが必要です。そこで、本事業は、都内のものづくり中小企業等がこれらの国を実際に訪問し、**現地の医療関係者の真のニーズを把握し、市場攻略等のためのネットワークづくりを行うことを支援**します。このたび、令和7年度の訪問予定先であるフィリピンの市場開拓を検討する事業者を募集します。東京都は、本事業を国立健康危機管理研究機構との連携に基づいて実施し、東京都医工連携HUB機構等の連携による支援を行います。

訪問先

フィリピン共和国 マニラ首都圏及びその周辺地域（医療機関、医療機器の流通等に関する現地企業・団体など）

募集応募対象

都内中小企業（※）で、フィリピンの医療機器市場への参入を検討又は実施している医療機器製造販売企業・ものづくり企業（ソフトウェア、情報処理サービス業を含む）等

募集者数：10者（1事業者1名）程度

※「中小企業」とは、中小企業基本法第2条第1項規定の「中小企業者の範囲」に該当する会社及び個人（スタートアップやベンチャー企業を含む）を言います。

費用負担

＜東京都による費用負担が行われるもの＞

- ・現地訪問前及び訪問後の勉強会開催費用
- ・渡航費及び現地交通費
- ・現地宿泊費（4泊）
- ・現地引率者、通訳者に関する費用
- ・コーディネーターによる支援に関する費用

＜参加者による費用負担が必要となるもの＞

上記以外の全ての費用

（日本国内の交通費、海外旅行保険、PCR検査が必要になった場合の費用、現地飲食費等）

令和6年度 インドネシア訪問時の様子



内容（予定）

原則、全てのプログラムにご参加ください。

令和7年10月～11月
事前勉強会2回開催

令和7年11月後半
フィリピン訪問

令和7年12月
～令和8年1月
事後勉強会2回開催

令和8年1月～2月
成果報告会開催

自社製品及び技術等に関する商談はプログラム内容には含まれません。

上記に加え、事業化推進コーディネーターを配置し、現地関係機関との継続的な関係構築等を支援します。

募集、申請について

令和7年5月29日
～7月11日
申請書類受付

令和7年7月下旬
書類審査

令和7年8月中旬
書類審査
結果通知

令和7年
8月28日（予定）
面接審査

令和7年9月上旬
採択結果通知

募集要項・申請様式は、下記ホームページに掲載しています。必ず事前に募集要項における事業内容・募集に関する詳細情報等をご確認の上、申請してください。

事業ホームページ
問合せ先

<https://smedo.metro.tokyo.lg.jp/>

現地ニーズを踏まえた海外向け医療機器開発支援 事務局

日本コンベンションサービス株式会社（運営受託事業者）担当：野上、高田

Eメール：smedo@ikou-hub.tokyo

電話：03-3500-5932

